

石材調多彩模様水性フッ素樹脂塗料

ボンフロン マイカストーン

(低汚染：防藻・防カビタイプ)



BONIFLON



石材調多彩模様水性フッ素樹脂塗料『ボンフロン マイカストーン[®]』

ボンフロン マイカストーンは、水性フッ素樹脂クリアー塗料に特殊顔料を配合し、石材調多彩模様が表現できる水性フッ素樹脂塗料です。ボンフロンマイカストーンは、下地状況に合った下塗り材を選択することで、新築から改修まで幅広く使用できます。

ボンフロン マイカストーンの特徴

- 塗料タイプながら、多彩に広がる美しき表情を表現します。
- 中塗りから上塗りまでフッ素樹脂塗料なので長期耐候性を保持します。
- 優れた低汚染機能を発揮する、親水タイプ塗料です。
- 防藻・防カビ機能があります。
- オール水性塗料なので環境にやさしい塗装システムです。

ボンフロン マイカストーンの塗膜機能について

ボンフロン マイカストーンは、塗膜表面を親水化する特殊添加剤と防藻・防カビ剤を添加することで、従来からある石材調仕上げ材と比較して、汚れが落ちやすく、また付着した藻やカビが成長しにくいいため塗膜の美観を維持することが可能となりました。 ※カビ抵抗性試験：JIS Z 2911

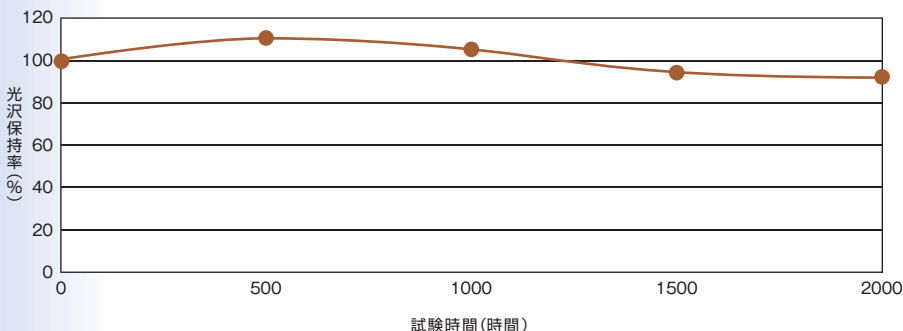
ボンフロン マイカストーンの塗膜性能について

石材調多彩模様水性フッ素樹脂塗料であるボンフロン マイカストーンは、耐候性も含めた塗膜物性で、高耐久性塗料である水性フッ素樹脂塗料と同等の塗膜性能を得ることができました。これは、一般的な石材調仕上げに使用している骨材や炭酸カルシウム等の体質顔料を使用しておらず、耐水性や耐候性に影響のない特殊顔料を使用して石材調の意匠を発現しているためです。

ボンフロン マイカストーンの塗膜性能

試験項目		新設塗装仕様	塗り替え塗装仕様	窯業サイディング材 塗り替え塗装仕様	試験方法
標準状態	付着性	分類0(25/25)	分類0(25/25)	分類0(25/25)	JIS K 5600-5-6
耐水性10日	試験後の 外観	異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5600-6-1 (耐液体性)
	付着性	分類0(25/25)	分類0(25/25)	分類0(25/25)	
耐湿潤冷熱 繰返し性 10サイクル	試験後の 外観	異常なし	異常なし	異常なし	JIS K 5600-7-4 (条件2)
	付着性	分類0(25/25)	分類0(25/25)	分類0(25/25)	

ボンフロン マイカストーンの促進耐候性試験結果(SWOM試験)





新設塗装仕様（RC・モルタル下地）〈ボンフロン マイカストーン C-SR工法〉

工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m ²)※1	塗回数	塗装間隔		施工方法	
					工程内	工程間		
素地調整								
被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去して下さい。								
1	下塗	ボンフロン水性用 プライマーSエナメル	清水 0~15	0.12~0.15	1	—	2時間以上	刷毛 ローラー エアレス
2	中塗	ボンフロン マイカストーン中塗	清水 0~5	0.13~0.18	1	—	3時間以上	刷毛 ローラー エアレス
3・4	上塗	ボンフロン マイカストーン上塗※2	0	0.25~0.35	2	指触乾燥	—	リシンガン 口径5mm以上



塗り替え塗装仕様 〈ボンフロン マイカストーン 微弾性工法〉

工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m ²)※1	塗回数	塗装間隔		施工方法	
					工程内	工程間		
素地調整								
旧塗膜に脆弱部がある場合はサンダー・皮スキ等を用いて除去し、段差修正および模様合わせを行って下さい。高圧洗浄機を用いて、旧塗膜に付着している埃・汚れ等を除去して下さい。								
1	下塗	ボンHBサーフェーサーR	清水 2~5 5~8	0.8~1.2 0.3~0.5	1	—	16時間以上 7日以内	砂骨ローラー ウールローラー
2	中塗	ボンフロン マイカストーン中塗	清水 0~5	0.13~0.18	1	—	3時間以上	刷毛 ローラー エアレス
3・4	上塗	ボンフロン マイカストーン上塗※2	0	0.25~0.35	2	指触乾燥	—	リシンガン 口径5mm以上



窯業サイディング板塗り替え塗装仕様 〈ボンフロン マイカストーン SD工法〉

工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 (kg/m ²)※1	塗回数	塗装間隔		施工方法	
					工程内	工程間		
素地調整								
高圧洗浄機を用いて、旧塗膜に付着している埃・汚れ等を除去して下さい。								
1	下塗	EFP着色プライマー	清水 0~5	0.12~0.16	1	—	2時間以上	刷毛 ローラー
2	中塗	ボンフロン マイカストーン中塗	清水 0~5	0.13~0.18	1	—	3時間以上	刷毛 ローラー
3・4	上塗	ボンフロン マイカストーン上塗※2	0	0.25~0.35	2	指触乾燥	—	リシンガン 口径5mm以上

※1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率 (%)
刷毛、ローラー	80~100
エアレスプレー	60~80
各種吹き付けガン	50~70

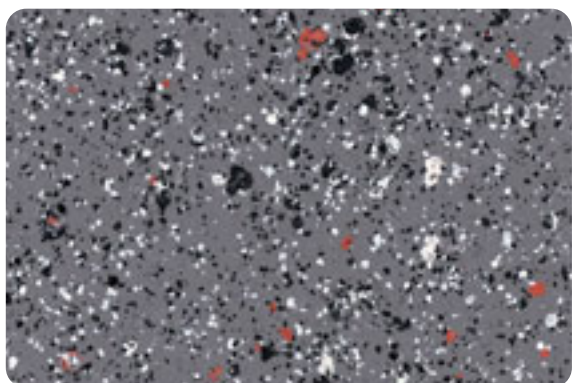
※2) ボンフロン マイカストーン上塗

- ①本材料に使用しているカラーチップは、沈降し易いので使用前は、缶を逆さま(天地をひっくり返す)にして暫く放置して下さい。
- ②本材料に使用しているカラーチップは、沈降し易いので使用前並びに長時間作業を中断後は、必ず動力攪拌を行って下さい。
- ③本材料に使用しているカラーチップは、壊れやすいので低速攪拌して下さい。
- ④本材料は、2回で所要量を満たして下さい。
- ⑤本材料の塗装には、必ずリシンガンを用いて、口径5mm以上で塗装を行って下さい。
- ⑥リシンガンの吐出圧は、塗材が吐出する最小圧力よりやや高めに調整して下さい。
目安は、トットトットと乾いた音を発しながら材料が吐出する程度の圧力が最適です。

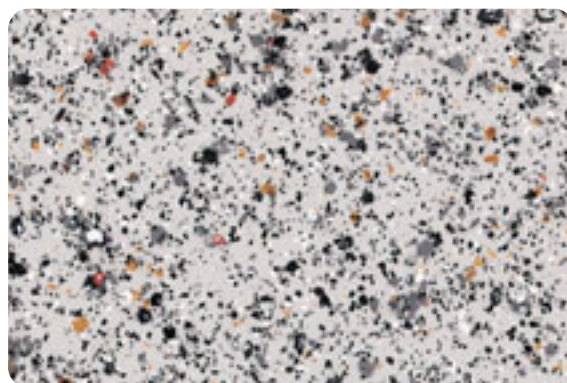
※3) 本工程のムラのない仕上げ方

- ①一度に、多量に塗布しないで下さい。
- ②上塗の一回目は、塗布量を抑えカラーチップを満遍なく散らすようにして下さい。
- ③上塗の二回目は、目的の意匠に見合うカラーチップの量を塗布するようにして下さい。
本工程は、ボンフロン マイカストーン上塗の塗布量によって、意匠を変えることができます。
- ④上塗は、仕上げ面に塗布する前に必ず試し吹きを行って下さい。
- ⑤塗装時のリシンガンの運びでは、ストローク毎のオーバーラップは避けて下さい。
- ⑥ボンフロン マイカストーン上塗は、塗装直後は乳白色を呈していますので、カラーチップの量が分かり難いです。
従って、カラーチップの量が少なめに感じる程度の塗布量にとどめることをお勧めします。

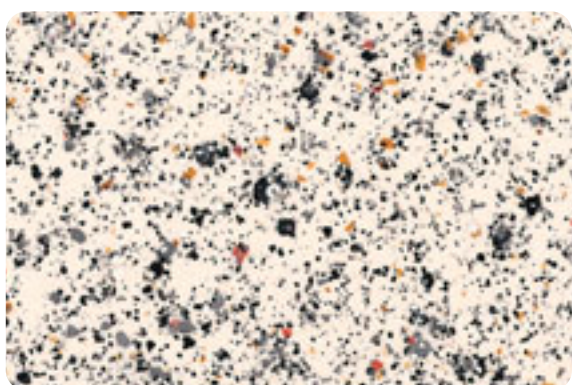
標準色見本



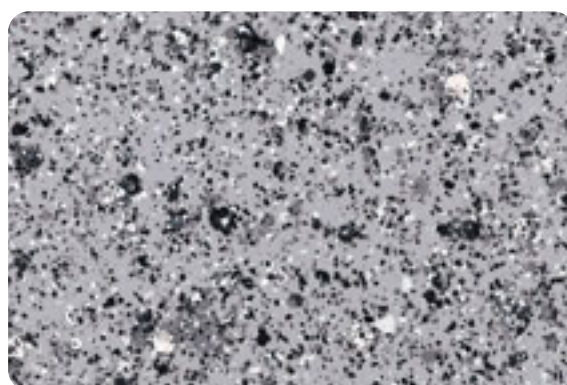
BM-001 ↑



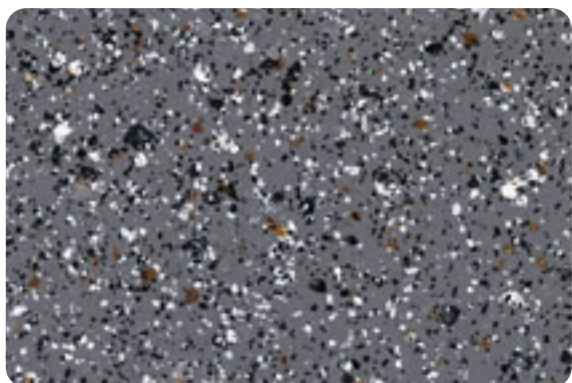
BM-002 ↑



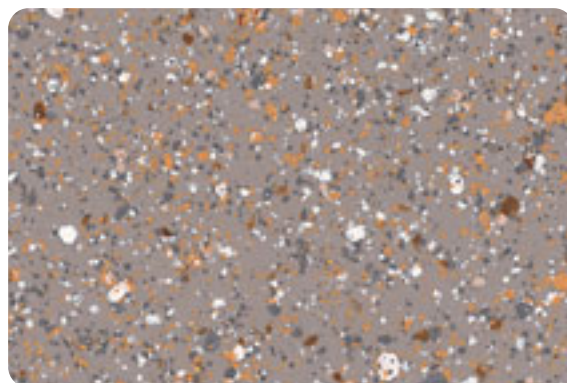
BM-003 ↑



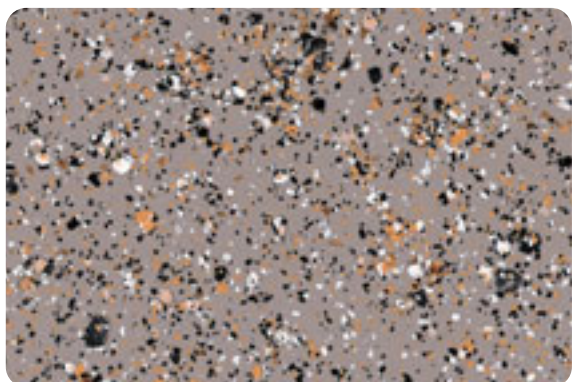
BM-004 ↑



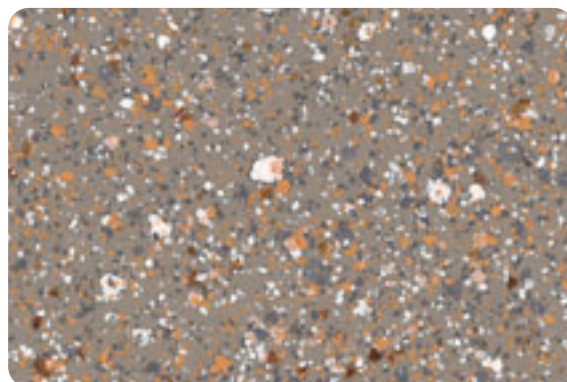
BM-005 ↑



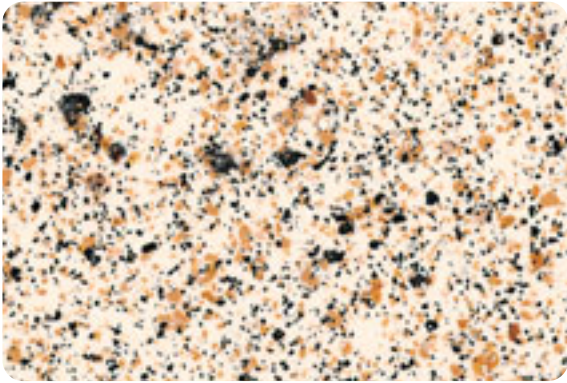
BM-006 ↑



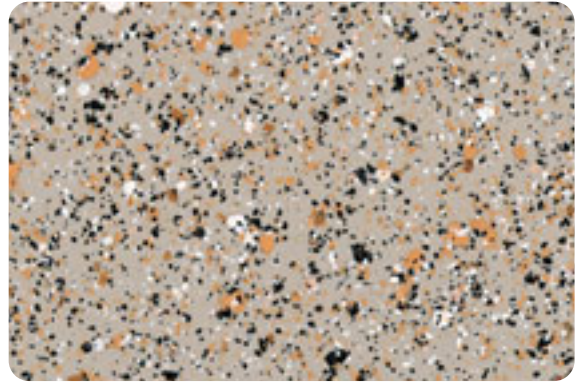
BM-007 ↑



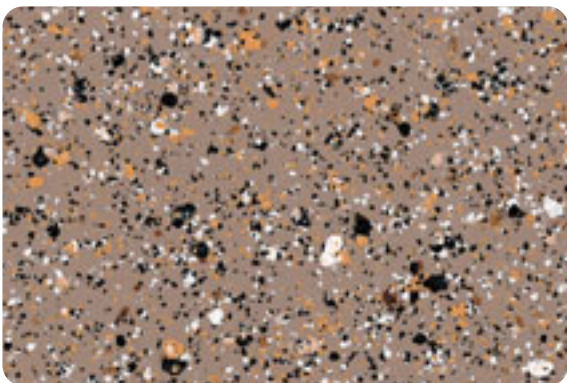
BM-008 ↑



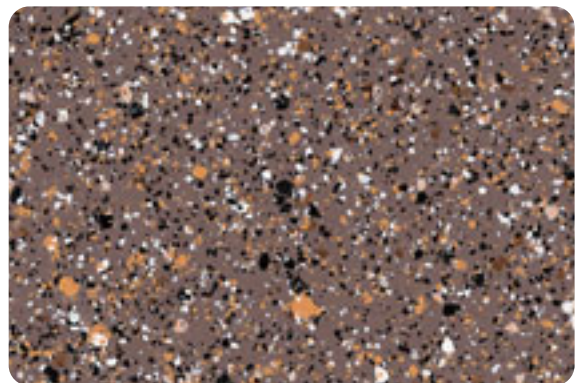
BM-009 ↑



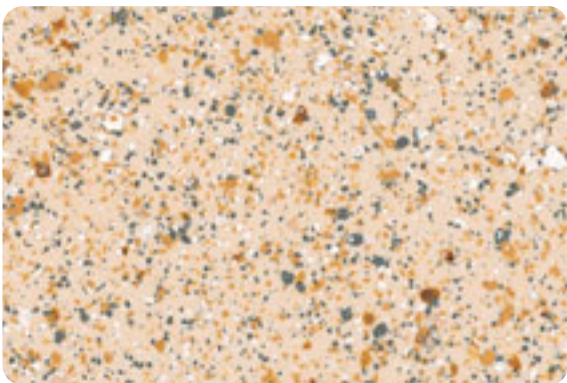
BM-010 ↑



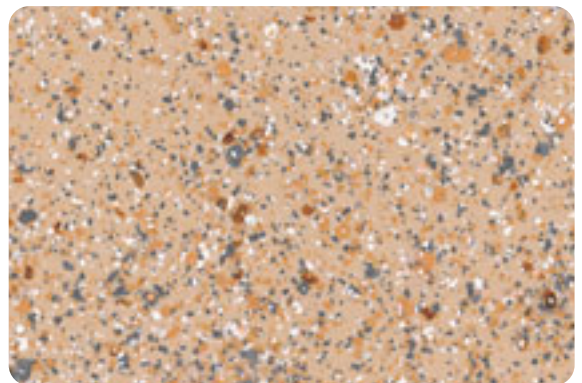
BM-011 ↑



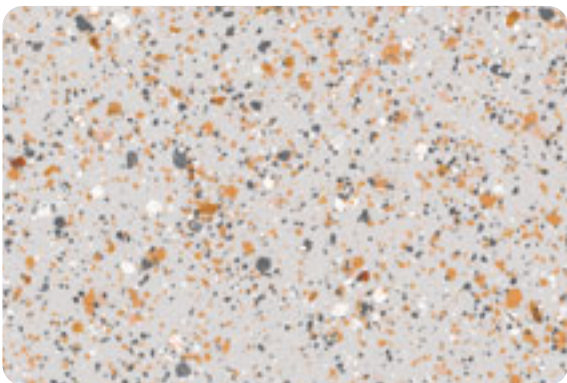
BM-012 ↑



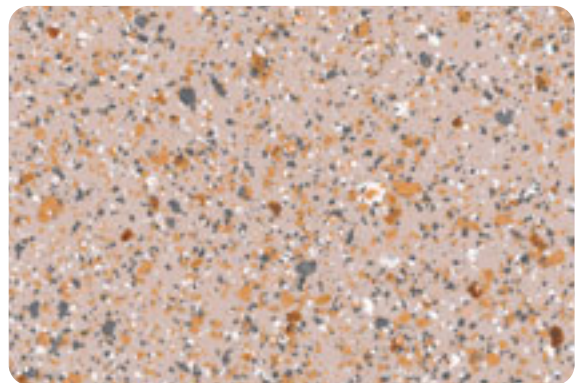
BM-013 ↑



BM-014 ↑



BM-015 ↑



BM-016 ↑

■材料荷姿	材 料 名	入 目
下 塗	ボンHBサーフェーサーR	16kg/缶
	ボンフロン水性用プライマーS(エナメル)	15kg/缶
	EFP着色プライマー	15kg/缶
中 塗	ボンフロン マイカストーン中塗	15kg/缶 4kg/缶
上 塗	ボンフロン マイカストーン上塗	13kg/缶 3.5kg/缶

■貯蔵上の注意

低温(0℃以下)および高温(50℃以上)での保管は避け、屋内の直射日光のあたらない場所に保管して下さい。

ルミフロンは旭硝子(株)の登録商標です

ボンフロンはAGCコーテック(株)の登録商標です

2012.9. 1000 TM

AGCコーテック株式会社

本 社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 2-9 コンフォール安田ビル5F
 塗料事業部 〒101-0054 //
 西日本支店 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座 2-2-18 大阪西本町ビル11F
 東北支店 〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡 2-2-11 パスコ仙台ビル9F
 URL <http://www.agccoat-tech.co.jp>

☎ 03-5217-5100 FAX 03-5217-5105
 ☎ 03-5217-5101 FAX 03-5217-5106
 ☎ 06-6578-2801 FAX 06-6578-2802
 ☎ 022-299-6365 FAX 022-299-6368